

# 市民と共に魅力あるまちづくりを目指して



旭市長

米本 弥一郎

明けましておめでとうございます。市民の皆さまには、ご家族おそろいで穏やかな新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。本年が夢と希望にあふれた、輝かしい一年となることを心からお祈り申し上げます。

昨年を振り返りますと、長く続いたコロナ禍が収束へと向かい、まちに笑顔やにぎわい、交流が戻ってきた年でした。

3年ぶりに開催された旭市飯岡しおさいマラソンには、全国各地から参加をいただきました。旭市いいおかYOU・遊フェスティバルでは、4年ぶりの花火が夜空に

大輪の花を咲かせ、旭市七夕市民まつりでは、七夕飾りやパレードが来場者を魅了しました。あさひオータムジャンボリーには、数多くの出店があり、地元産業のポテンシャルの高さを示すことができましたと思います。復活したイベントを通じて、旭を盛り上げようという市民の熱い想いを感じることができ、大変うれしく思います。

市では、少子・高齢化や人口減少が進む中、将来を見据えて、さまざまな施策に取り組んでいます。

教育環境の向上を目的とした小・中学校の再編では、干潟地域の小学校再編を、地域の皆さまとの共通理解を深めながら進めます。保育所の再編では「(仮称)中央第二・ゆたか統合保育所」の建設が始まります。子育て世帯の期待に応えられる保育環境の実現を目指します。また、安全・安心で暮らしやすいまちづくりのため、海上・飯岡統合消防分署庁舎の建設や防災行政無線の改修を進め、防災力の強化を図ります。

物価高騰により、日常生活や事業活動への影響が長期化しています。今後も国・県と連携し、必要な支援に努めてまいります。さらに、子育て支援や人口減少対策、産業振興、道路整備、シニアプロモーションなど、幅広く事業を展開してまいります。

本年は、まちづくりの最上位の指針となる「第3期旭市総合戦略」を策定します。市民や市議会の皆さまの意見を取り入れながら「チーム旭・オール旭」で作りに上げてまいります。まちづくりは、市民と共に進めていくことが最も重要です。皆さまの積極的な参画をお願い申し上げます、年頭のご挨拶とさせていただきます。



# 市民に開かれた議会、市民の意見が 反映される議会を目指して



旭市議会議長

飯嶋 正利

な動きの影響により、世界の経済情勢は減速傾向にあります。一方で日本経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果もあり、景気が緩やかに回復しており、デフレからの完全脱却に向けた重要局面にあるといえます。

このような中、本市においては、

基幹産業である農水産業をはじめ、商工業および観光業の振興、次世代を担う人材の育成・確保、魅力的な雇用の場の創出、多様な人材が活躍できる取り組みの推進などが重要であると考えます。

近年、地方議会は性別や年齢層の偏り、議員のなり手不足の深刻化、低投票率に見られる議会への関心の低下などの課題に直面しています。

市議会では、幅広い人材が参画し、市民に開かれた市議会の実現に向け、本会議の生中継や録画をインターネットで配信しています。

また、議案審議や一般質問といった議会の活動内容を分かりやすく掲載した「議会だより」を、さまざま

まなメディアを通じて発信するなど、市民の議会への関心を高めるための取り組みをしています。

このほか、議会運営の高度化・効率化を図るため、昨年の9月定例会から執行部と共にタブレット端末や会議システムを導入し、運用を開始しています。

これらの取り組みにより、若者や女性、会社員など多様な人材が市議会議員に積極的に挑戦することで、市民の負託に応える大きな力となり、旭市の未来を切り開く活力ある市議会が実現することを期待しています。

結びに、皆さま方のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。また、新年のご挨拶といたします。

明けましておめでとうございます。辰年は運氣や景気が上向く年。市民の皆さまにおかれましては、希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

また、日頃より市議会活動に対し、多大なるご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年の12月議会におきまして、議員各位のご推挙により第18代議長に就任いたしました。全身全霊を傾けて市政と市議会発展のために働く決意ですので、よろしくお願いたします。

さて、国際社会における政治的

